

11. 現在までの達成度

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。
 <区分>①当初の計画以上に進展している。 ②おおむね順調に進展している。 ③やや遅れている。 ④遅れている。

(区分) ②おおむね順調に進展している
(理由) 当初の計画通りマウス脳内画像伝送実験を達成することができたため。

12. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

次年度は、複数の μ -COM 駆動及びその画像取得・合成に関する研究を開始する。具体的には、(1) μ -COM 設計・試作・動作検証, (2) 生体内伝導通信, (3) 2次元通信, (4) <i>in vivo</i> 実証について研究を進めていく。
--

13. 研究発表 (平成23年度の研究成果)

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

〔雑誌論文〕 計 (0) 件 うち査読付論文 計 (0) 件

著者名	論文標題					
雑誌名	査読の有無	巻	発行年			最初と最後の頁
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)						

著者名	論文標題					
雑誌名	査読の有無	巻	発行年			最初と最後の頁
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)						

著者名	論文標題					
雑誌名	査読の有無	巻	発行年			最初と最後の頁
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)						

〔学会発表〕計（ 4 ）件 うち招待講演 計（ 0 ）件

発表者名	発表標題		
K. Sasagawa, T. Matsuda, P. Davis, Z. Bing, K. Li, T. Kobayashi, T. Noda, T. Tokuda, J. Ohta	Wireless Intra-Brain Communication for Image Transmission through Mouse Brain		
学会等名	発表年月日	発表場所	
IEEE EMBC	2011年9月1日	Boston, USA	

発表者名	発表標題		
横田 昇吾, 笹川 清隆, 野田 俊彦, 徳田 崇, 太田 淳	脳内埋植型イメージセンサ信号送信のための電圧制御発振器の試作		
学会等名	発表年月日	発表場所	
応用物理学関係連合講演会	2012年3月16日	早稲田大学	

発表者名	発表標題		
太田 淳, 笹川 清隆, 小林 琢磨, 野田 俊彦, 徳田 崇, 塩坂 貞夫, デイビス ピーター, 松田 隆志, 張 兵, 李 可人	生体内埋植マイクロコミュニケータ ～ 超低侵襲生体・半導体インターフェースデバイスを目指して ～		
学会等名	発表年月日	発表場所	
映像情報メディア学会情報センシング研究会	2011年9月30日	機械振興会館	

発表者名	発表標題		
笹川 清隆, 松田 隆志, ピーター デイビス, 張 兵, 李 可人, 小林 琢磨, 野田 俊彦, 徳田 崇, 太田 淳	無線脳内通信によるマウス脳内画像伝送		
学会等名	発表年月日	発表場所	
2011年映像情報メディア学会年次大会	2011年8月26日	成蹊大学	

〔図書〕計（ 0 ）件

著者名	出版社			
書名			発行年	総ページ数

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕計（ 0 ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕計（ 0 ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--